

【地産地消！（野菜づくり）】

鴨居中学校特別支援教室

〈取組のきっかけ・概要〉

小中学校での不登校支援の方法は様々です。社会との関わりを絶ってしまっていて自立できない状況にある子どももいます。子どもたちの居場所としての学校をどう作るか。民間企業さんと子どもたち、教員が「野菜販売できないかな？」とフラットな立場で話し合い、その実現に向けて手立てを一緒に考える。子どもたちにとって、自分の想いに共感してくれるクリエイティブな大人がいるということにうれしさを感じそれが自分の将来の夢を描く経験や勇気になり、自立におけた行動につながっています。

〈学習活動の様子〉

①Well-being (PBL：おしゃべり会)

②どんな野菜を作るか？（オンラインとリアル）

③植え付けや管理方法
オンラインでアドバイス

④収穫

⑤販売

⑥料理レポート提供

⑦募金・子ども食堂へ提供

社会の一員



オンライン
打ち合わせ



安全地帯

オンライン支援



リコピン人参収穫



購入者から
料理レポート

サツマイモ販売

〈子どもの変容（育成された資質・能力）〉

- 失敗を次へのチャンスと考え、変化を恐れず、変化に対応していく力が身に付きました。
- 多くの意見から多面的に検討を重ねて、できる行動を起こそうとする態度が身に付きました。
- 社会の中で、自分の役割を果たし自分らしい生き方を実現する力が育ってきました。



サイボウズ株式会社
ソーシャルデザインラボ
前田 小百合様
中村 龍太様
渡辺 清美様

〈連携機関の担当の方からのメッセージ〉

キントーンで栽培記録や栽培相談をする新しいチャレンジをした1年でした。収穫した野菜に値付けし販売するという初体験の中で、自分ができるところを探し貢献するお子さんの姿がとても素敵でした。



株式会社城南進学研究社
学校教育ソリューション事業
水野 雅恭様
高山 恵美様

学校と連携することで、先生や生徒たちの夢や実現したいこと、解決したい課題などを直接伺うことができます。これからも企業が学校でどの様なお手伝いができるのか、先生方と協力して生徒たちのために力を尽くします。

【連携機関等：サイボウズ株式会社 株式会社城南進学研究社】